



KARATSU SHINKIN BANK

Mini Disclosure

2021年9月期



親しみ・信頼・確かな未来

唐津信用金庫

はじめに



日ごろより唐津信用金庫に対しまして格別のご愛顧、お引き立てを賜り誠にありがとうございます。
 本年もここにミニディスクロージャー誌「KARATSU SHINKIN BANK Mini Disclosure 2021年9月期」をご報告させていただきます。当金庫の業務内容や財務内容などについて、より一層ご理解いただくためのご参考になれば幸いです。
 今後とも、健全経営の堅持に努め、役職員の総力を結集して顧客満足度を高める活動を進めてまいりますので、何卒変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年11月

理事長 落合正利

経営理念

～親しみ・信頼・確かな未来～

～4つのビジョン～

- ・信用金庫の特性を発揮します
- ・経営の健全性を確保します
- ・経営体質の強化に努めます
- ・魅力ある職場を目指します

当金庫の概要

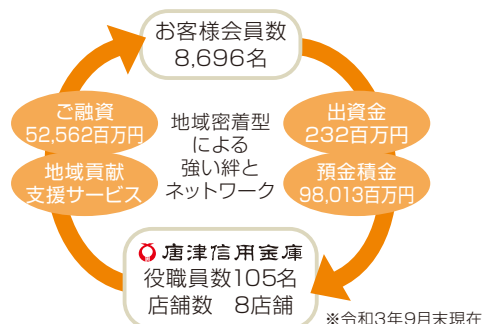
創 業	昭和4年12月24日
本 店 所 在 地	佐賀県唐津市大名小路310番地の35
出 資 金	232百万円
会 員 数	8,696人
預金積金残高	98,013百万円
貸 出 金 残 高	52,562百万円
常勤役員数	105人
店 舗 数	8店舗

※令和3年9月末現在

当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、唐津・東松浦地域を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となっており、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



預金積金、貸出金について

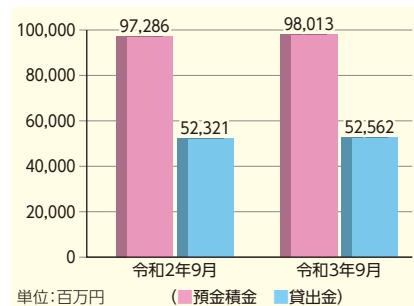
預金面におきましては、順調に推移しまして前年同期比727百万円増加し98,013百万円となりました。

一方、融資面におきましては、厳しい経済環境が続いておりますが、事業資金、個人ローンを中心に積極的にお客様支援に取組み、前年同期比241百万円増加し52,562百万円となりました。

■預貸金の推移

単位：百万円

	令和2年9月	令和3年9月
預 金 積 金	97,286	98,013
貸 出 金	52,321	52,562



■業種別貸出金の状況

単位：百万円

業 種	令和2年9月			令和3年9月		
	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比
製 造 業	63	2,030	3.8%	58	1,927	3.6%
農 業 ・ 林 業	21	184	0.3%	22	417	0.7%
漁 業	5	88	0.1%	5	65	0.1%
鉱 業	2	29	0.0%	2	32	0.0%
建 設 業	159	2,850	5.4%	157	2,784	5.2%
電 気、ガ ス 熱 供 給、水 道 業	6	434	0.8%	7	326	0.6%
情 報、通 信 業	3	106	0.2%	3	78	0.1%
運 輸 業	20	523	0.9%	20	487	0.9%
卸 売 業、小 売 業	220	3,942	7.5%	217	4,044	7.6%
金 融、保 険 業	8	301	0.5%	10	581	1.1%
不 動 産 業	101	4,942	9.4%	113	5,016	9.5%
物 品 賃 貸 業	1	0	0.0%	1	0	0.0%
学 術 研 究、専 門、技 術 サ ー ビ ス 業	13	122	0.2%	12	112	0.2%
宿 泊 業	17	693	1.3%	18	673	1.2%
飲 食 業	144	1,296	2.4%	152	1,265	2.4%
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業、娯 楽 業	58	1,859	3.5%	60	1,907	3.6%
教 育、学 習 支 援 業	3	112	0.2%	3	105	0.1%
医 療、福 祉 業	32	811	1.5%	32	806	1.5%
そ の 他 サ ー ビ ス 業	88	1,035	1.9%	89	1,132	2.1%
地 方 公 共 団 体	2	7,118	13.6%	2	6,430	12.2%
個 人（住 宅、消 費、納 税 資 金 等）	6,805	23,835	45.5%	6,580	24,366	46.3%
合 計	7,771	52,321	100.0%	7,563	52,562	100.0%

業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

収益について

収益の状況におきましては、厳しい環境が続くなか、貸出金の期中平均残高は対前年同月比2,133百万円の増加となりましたが、利回りの低下から貸出金利息は減収となりました。有価証券関連収益は増加し貸倒引当金に対する戻入が収益に寄与しております。

支出面におきましては、人員増加と設備投資により経費が増加いたしました。

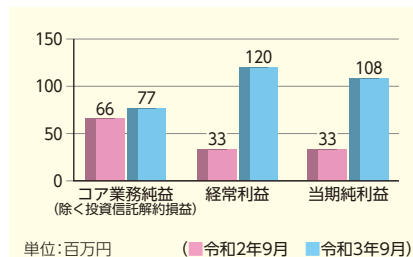
その結果、経常利益は前年同月比87百万円増加し120百万円、当期純利益は108百万円となりました。

一方金融機関の本業の収益を示すコア業務純益は11百万円増加の77百万円となりました。

■損益の状況

単位：百万円

	令和2年9月	令和3年9月
経常収益	692	752
業務純益	62	77
実質業務純益	66	77
コア業務純益	66	77
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	66	77
経常純利益	33	120
当期純利益	33	108



不良債権の状況について

令和3年9月末現在で資産査定を実施した結果、貸出金や債務保証見返等を含めた金融再生法に基づく不良債権額は2,571百万円となりました。

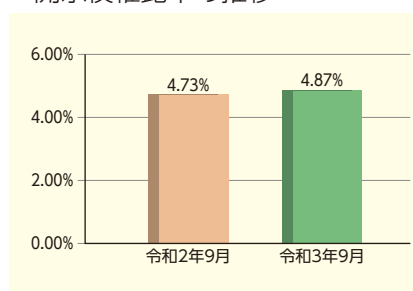
なお、貸出金等の総与信に対する不良債権額の割合は前年同期対比0.14ポイント増加して4.87%となりました。

■金融再生法上債権保全状況

単位：百万円

	令和2年9月	令和3年9月
合計管理債権額（A）	2,477	2,571
うち破産更生債権及びこれらに準じる債権	172	296
うち危険債権	2,161	2,061
うち要管理債権	143	213
正常債権	49,925	50,263
保全額（B）	2,344	2,405
担保保証付与信額（C）	2,037	1,920
貸倒引当金（D）	306	486
差引保全不足額	133	166
保全率（B） / （A）	94.6%	93.5%
引当率（D） / （A－C）	69.5%	74.7%

■金融再生法に基づく開示債権比率の推移



- 1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 3.「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。
- 4.「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。
- 5.「金融再生法上の不良債権」における「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。

自己資本比率について

当金庫の自己資本比率につきましては、貸出金や預け金、有価証券の残高は増加しましたが、預け金のリスクアセット減少が影響し、前年同期比0.5ポイント増加し8.03%と、国内基準行の所要自己資本比率4.0%を大きく上回っております。

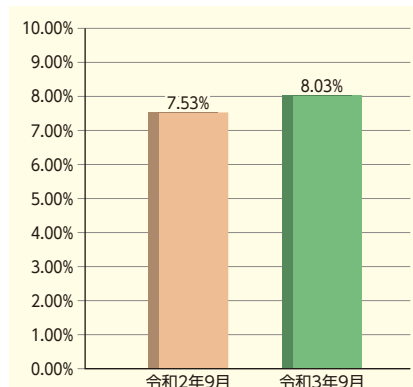
お客様に安心してお取引頂くために、自己資本の更なる充実に努め、安全性と健全性を重視した経営に取り組んでまいります。

なお、9月期の仮決算は、9月末の残高を基準に時価補正を行うなど、決算手続きに準じて計算を行っておりますが、簡便な取扱となっており、法定決算手続きによるものではありませんので、税効果等により変動することがあります。あくまで9月末の目安として捉えておりますのでご了承ください。

■自己資本比率

単位：百万円

	令和2年9月	令和3年9月
コア資本に係る基礎項目（イ）	3,075	3,179
コア資本に係る調整項目（ロ）	5	12
自己資本額（イ）－（ロ）（ハ）	3,070	3,166
リスクアセット等合計額（ニ）	40,743	39,389
自己資本比率（ハ） / （ニ）	7.53%	8.03%
総所要自己資本額	1,629	1,575



（注）自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。

なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

有価証券の状況について

お客様からお預かりした資金の一部を、有価証券等で安全性や収益性に留意して運用しております。
今年度は運用の多様性を進め、計画的に残高を積み増し積極的に収益の確保を図ってまいりました。

■満期保有目的の債券

単位：百万円

	種類	令和2年9月			令和3年9月		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を 超えないもの	外 国 証 券	200	200	▲ 0	200	197	▲ 2
合 計		200	200	▲ 0	200	197	▲ 2

(注) 時価は、会計年度末日の市場価格等に基づく価格です。

■その他有価証券

単位：百万円

	種 類	令和2年9月			令和3年9月		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株 式 債 券	142	111	31	165	94	71
	国 債	12,022	11,701	320	12,532	12,301	231
	地 方 債	3,288	3,219	68	3,159	3,119	40
	社 債	3,426	3,349	77	3,507	3,449	58
	外 国 証 券	5,306	5,132	174	5,866	5,732	134
	そ の 他	657	645	11	1,437	1,399	38
	小 計	7,714	7,400	313	6,675	6,271	404
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株 式 債 券	20,537	19,859	677	20,811	20,066	745
	株 式 債 券	74	90	▲ 16	39	45	▲ 6
	債 券	798	802	▲ 4	702	702	▲ 0
	国 債	-	-	-	-	-	-
	地 方 債	99	100	▲ 0	99	100	▲ 0
	社 債	698	702	▲ 4	602	602	▲ 0
	外 国 証 券	624	640	▲ 16	595	600	▲ 5
合 計	そ の 他	2,284	2,322	▲ 37	4,901	5,058	▲ 157
	小 計	3,781	3,855	▲ 74	6,239	6,406	▲ 167
合 計		24,319	23,715	603	27,050	26,472	578

(注) 時価は、会計年度末日の市場価格等に基づく価格です。

本店営業部

唐津市大名小路310-35
☎0955(73)3105



朝日町支店

唐津市朝日町1095
☎0955(72)8271



西唐津支店

唐津市西唐津2丁目6223-23
☎0955(72)8341



浜崎支店

唐津市浜玉町浜崎1269
☎0955(56)6814



相知支店

唐津市相知町相知1948
☎0955(62)2555



和多田支店

唐津市和多田南先石8-2
☎0955(74)7101



町田支店

唐津市町田1丁目8-3
☎0955(74)4421



山本支店

唐津市山本1502-3
☎0955(78)1146



店外ATM

●イオン唐津店 唐津市鏡字立神4671

●唐津市役所 唐津市西城内1-1

●サンフレッシュ神田店 唐津市神田2070-1

●まいづるショッピングプラザ 唐津市大名小路24-1